

平成 26 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア言語文化研究部門 I
氏名 Name	酒井裕美
専門分野 Academic Field	朝鮮史学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	開港期朝鮮の対日外交政策
<p>本年度も、昨年度に引き続き、科学研究費助成金若手研究（B）の支援を受けている研究テーマ「開港期朝鮮の対日外交政策研究」を進めた。</p> <p>具体的には、日朝間において1883年に締結される「日本漁民取扱規則」（以後「取扱規則」と略す）と、1889年締結の「日本朝鮮両国通漁規則」（以後「通漁規則」と略す）について、それぞれの制定交渉過程、制定後の運用実態を明らかにすることが研究目的であるが、本年度は「取扱規則」に大きな影響を与えたと考えられる、朝鮮と清との間に締結された「朝清商民水陸貿易章程」における漁業権規定をめぐる問題についての研究を進めた。これについては、2015年6月に東アジア近代史学会大会で発表する予定となっている。</p> <p>一方、大阪大学出版会の教員出版支援制度の恩恵にあずかることとなり、これまでの研究を本としてまとめる作業も進めた。来年度『開港期朝鮮の戦略的外交』として出版する予定である。</p> <p>その他、2014年が日清戦争120年にあたる年であったことから、日本の歴史教育における日清戦争をめぐる問題について、発表してほしいという依頼を、韓国・独立記念館から受け、2014年9月に独立記念館で開催された国際学術会議において発表を行った。その内容は、2015年3月刊行予定の『コリア研究』第6号（立命館大学）、『韓国独立運動史研究』（独立記念館）にそれぞれ、日本語と韓国語で掲載される予定である。</p>	